

令和 5 年度

通期業績予想

〔上半期決算反映版〕

令和 5 年 1 2 月

箕面都市開発株式会社

上半期決算に基づく通期業績予想の概要

1 令和5年度予算と通期業績予想を比較すると

- 通期業績予想では、予算編成時の見込みに比べ、売上高、営業利益、経常利益は予算を上回る見込みであり、経営は順調です。

2 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、**調停条項の想定推移を上回る見込み**です。
- 平成24年度末に債務超過が解消された**純資産額**についても、**調停条項の想定推移を引き続き上回る見込み**です。
- 本業の利益を示す営業利益など、いずれの利益(営業利益・経常利益・当期純利益)においても、**調停条項を上回る見込み**です。

3 今後の展望

- みのおサンプラザ1号館が今期で閉館となりますが、指定管理者候補となった箕面文化・交流センター北館・南館の売上等を含めると、営業利益は令和6年度から年1,000万円を見込みます。
- 今後もキャッシュフロー安定化のための経営努力を行います。

令和 5 年度

通期業績予想

1. 令和5年度通期業績予想

(単位:千円・%)

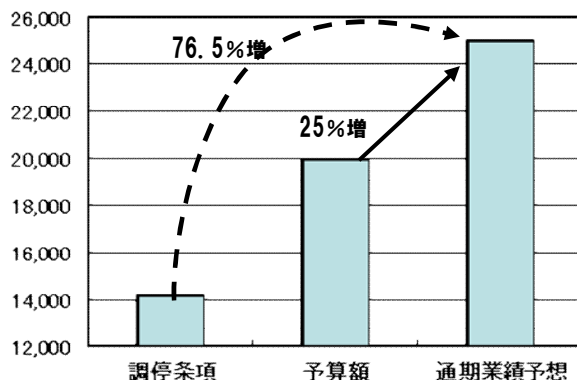
	令和5年度			令和5年度通期業績予想との比較			
	調停条項	予算額	通期業績予想	調停条項		予算額	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	106,074	128,000	131,193	25,119	23.7	3,193	2.5
営業利益	14,164	20,000	25,000	10,836	76.5	5,000	25.0
経常利益	12,625	17,927	23,046	10,421	82.5	5,119	28.6
当期純利益	6,192	48,507	22,626	16,434	265.4	▲25,881	▲53.4
期末資金残高	83,024	284,612	145,268	62,244	75.0	▲139,344	▲49.0
純資産額(※)	65,289	252,253	226,372	161,083	246.7	▲25,881	▲10.3

(※)法人税等調整額を除いています。

法人税等調整額とは・・・税務上の損金、益金で算定される課税所得と企業会計上の費用、収益で算定される当期純利益との差額を調整するものです。

2. 令和5年度営業利益（本業利益）の比較

(千円)



調停条項を上回り、予算を上回る予想です。

要因

売上高の増加により、営業利益が予算額を上回る見込みです。

新規民間受託業務の開始と、小さなお店応援チケットの販売手数料などで増収するほか、予算額に含まれていたサンプル1号館所有床売却が令和6年度中となる予定となり、当期純利益等が減少する予定です。

3. 貸借対照表

(単位:千円)

	令和4年度 (令和4年9月30日現在)		令和5年度 (令和5年9月30日現在)		増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
資産合計	584,291	100.0	561,142	100.0	▲23,149
流動資産	153,672	26.3	172,636	30.8	18,964
固定資産	430,619	73.7	388,506	69.2	▲42,113
有形固定資産	414,999	96.4	377,546	97.2	▲37,453
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	15,324	3.5	10,664	2.7	▲4,660
負債合計	420,224	71.9	341,218	60.8	▲79,006
流動負債	25,247	6.0	26,270	7.7	1,023
固定負債	394,977	94.0	314,948	92.3	▲80,029
純資産	164,067	28.1	219,924	39.2	55,857

純資産(繰延税金資産除く)	157,598	——	214,515	——	56,917
---------------	---------	----	---------	----	--------

※繰延税金資産とは・・・将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰延処理することにより生じる資産のこと

4. 決算実績と予算・通期業績予想の対比

(単位: 千円・%)

	令和4年度 (予算)		令和4年度 (決算)		令和5年度 (予算)		令和5年度 (通期業績予想)		増減率	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	R4決算・ R5業績予 想対比	R5予算・ R5業績予想 対比
売上高	126,000	—	129,696	—	128,000	—	131,193	—	1.2	2.5
受託料収入	79,504	—	80,464	—	80,902	—	83,955	—	4.3	3.8
所有床賃貸収入	7,469	—	8,292	—	8,629	—	8,629	—	4.1	0
土地賃貸収入	25,008	—	25,008	—	25,008	—	25,008	—	0	0
受取手数料収入	2,519	—	3,422	—	2,461	—	2,849	—	▲16.7	15.8
文化・交流センター売上	11,500	—	12,510	—	11,000	—	10,752	—	▲14.1	▲2.3
営業利益	21,500	17.1	28,671	22.1	20,000	15.6	25,000	19.1	▲12.8	25.0
経常利益	18,985	15.1	25,750	19.9	17,927	14.0	23,046	17.6	▲10.5	28.6

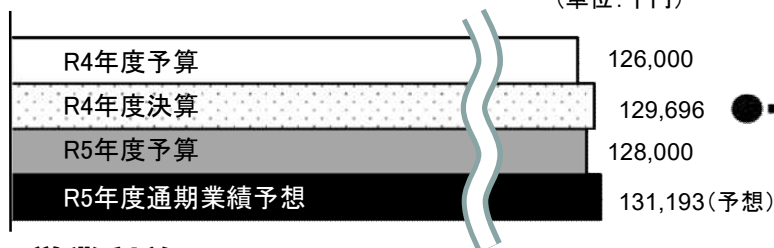
当期純利益 (法人税等調整額除く)	49,423	39.2	56,926	43.9	48,507	37.9	22,626	17.2	▲60.3	▲53.4
----------------------	--------	------	--------	------	--------	------	--------	------	-------	-------

5. 売上高・利益の推移

・令和5年度は、予算時に比べ売上高は増加し、営業利益、経常利益とも上回る予定です。

■売上高

(単位:千円)



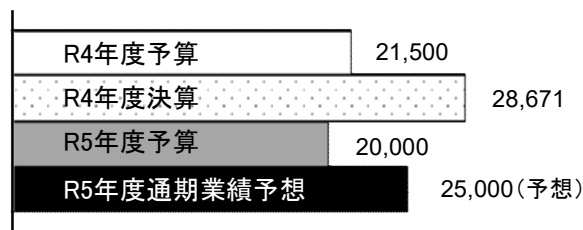
R4決算・R5予算と通期業績予想の比較・主な要因

決算比1.2%増
・交流センター売上は減少したが、民間受託収入の増加による

予算比2.5%増

・民間受託収入や小さなお店応援チケットの販売手数料収入増加などによる

■営業利益



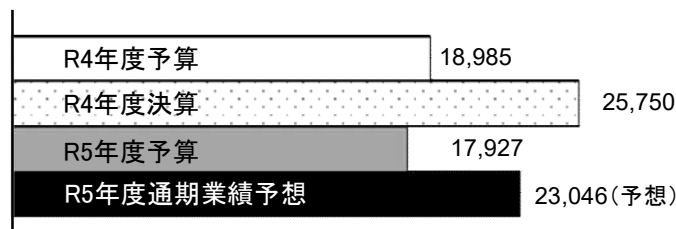
決算比12.8%減

・賃借料支払等の増加による

予算比25%増

・売上高の増加と販売管理費の抑制による

■経常利益



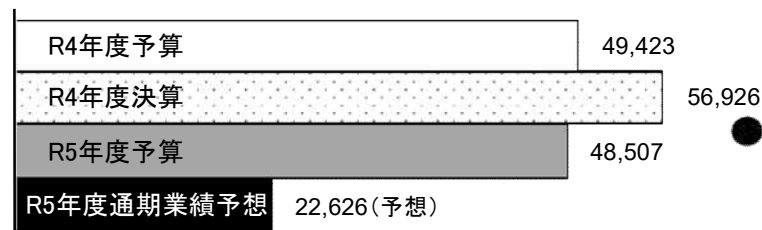
決算比10.5%減

・営業利益の減益による

予算比28.6%増

・営業利益の増益による

■当期純利益



決算比60.3%減

・固定資産売却益減による

予算比53.4%減

・今年度予定していた固定資産売却益が次年度になったことによる

参考１：経営内容を判断するポイント

■ 貸借対照表や損益計算書で経営判断することもありますが、新たな投資や臨時的な支出に大きく左右されます。

★調停条項の着実な履行を判断するポイント

- ① 期末にどれだけの資金残高があるのか
- ② 純資産額が増加しているのか

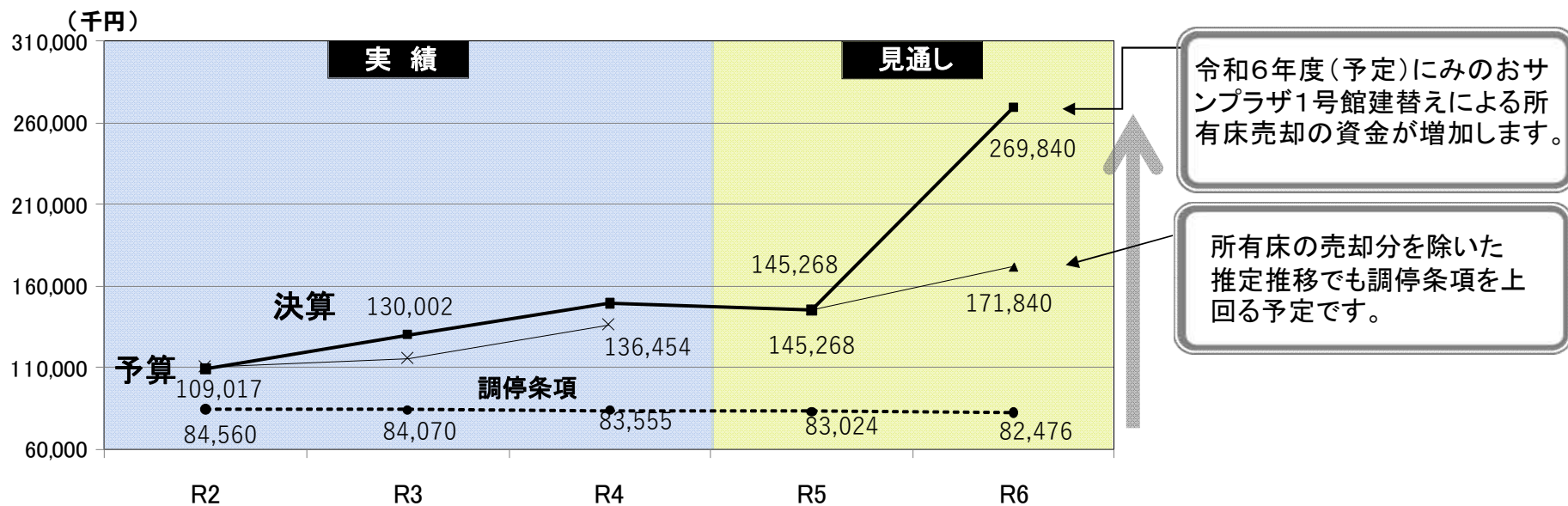
.....➡ 資金計画で判断することが適切

参考２：資金計画の見込み

（１）期末資金残高の推移

（単位：千円）

	各年度の予算・決算実績				令和5年度	令和6年度
	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
調停条項	84,560	84,070	83,555	調停条項	83,024	82,476
予算	110,682	115,641	136,454	今後の見通し R5年度通期業績予想による	145,268 (予算284,612)	269,840
決算	109,017	130,002	149,294			



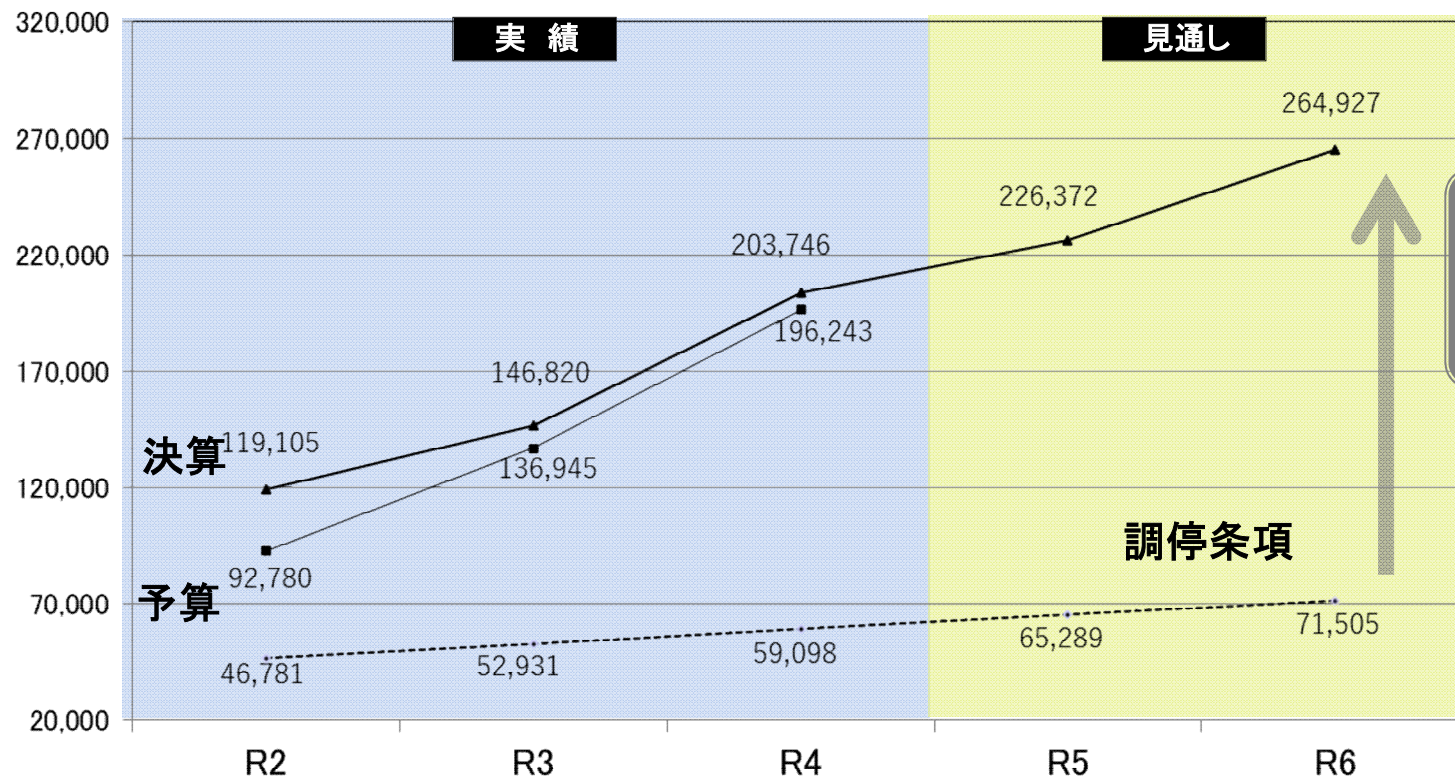
(2) 純資産額の推移

(単位: 千円)

	各年度の予算・決算実績				令和5年度	令和6年度
	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
調停条項	46,781	52,931	59,098	調停条項	65,289	71,505
予算	92,780	136,495	196,243	今後の見通し R5通期業績予想による	226,372 (予算252,253)	264,927
決算	119,105	146,820	203,746			

(各数値は繰延税金資産を除いています)

(千円)



調停条項の想定推移を大幅に上回る予定です。

参考 3：事業別売上高の推移

